

村井ひでき通信 第16号

～2015年上半期
活動報告編～

【討議資料】

自民党衆議院議員 村井ひできです。

1月26日から始まった通常国会ですが、安全保障法制など課題が山積をしていることから、大幅な延長が決りました。私にとっては、2期目になって初めての通常国会。引き続き厚生労働委員、自民党の中小企業政策・金融政策の担当を務めると同時に、財政健全化計画策定・将棋の王将戦誘致など全力で活動して参りました。そこで本号では、「2015年上半期活動報告編」として、今年前半の主な活動を報告させて頂きます。



財政健全化へ最大のチャンスが到来！～行革本部で財政健全化計画策定に向け奔走～

上半期に最も力を入れたのは、何といっても財政健全化に向けた取組です。我が国の巨額の財政赤字は、我々の未来に陰を落とす将来不安の元凶です。この問題解決に道筋をつけ、「安心して老後を過ごせる」「安心して子育てできる」環境を整えるこそが、若い政治家に課せられた使命であり、村井ひできの政治の原点です。

そして、今、財政健全化に向けた最大のチャンスがやってきています。様々な評価のあるアベノミクスですが、少なくとも歳入面で大きなプラスを生み出しており、税収は過去最高を記録した90年代の水準に迫りつつあります。特に、法人税収については、リーマンショック直後の平成21年度に6.4兆円まで落ち込みましたが、多くの企業の業績改善を反映して、今年度は倍近い約12兆円にまで達する見込みです。

その結果、我が国の中長期的な財政目標「毎年発生する財政赤字（正確にはプライマリーバランス）を、2015年度に2010年度比で半減、2020年度に黒字化」については、消費税10%を1年半延期したにも関わらず、2015年度分は達成見込みとなりました。

そして、上半期に大きな議論となった点が、2020年度の財政黒字化に向けた道筋です。私は、自民党の行政改革推進本部において、河野太郎本部長と共に、2020年度までの財政健全化計画策定に向けた作業に奔走しました。

財政健全化計画策定に当たっては、その前提として今後5年間の経済成長率、物価等の経済状況を出来るだけ正しく予測し、必要な財政改善額を導き出した上で、その額をどのように達成するかを具体的に示していく必要があります。

我々は、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」の検証を行うことから議論を進め、2020年度に9.4兆円の財政改善が必要であることを確

認し、2020年度までに具体的にどのような歳出抑制等を行い、財政黒字化を実現するか提言を取りまとめ、政府・党幹部に報告を行いました。(提言の詳細は村井ひできブログ6月15日等参照。)

提言の取りまとめ過程では、将来の経済前提や税収を過度に楽観的に見込むことで、財政黒字化のための必要額を小さく見せようという方との議論や、歳出抑制の内容などを巡って各業界団体との厳しい調整がありました。

率直に言って、財政再建に関わる仕事は、大勢の方々から嫌われる仕事です。しかしながら、経済状況が上向いている今こそ、こうした取り組みを加速して、財政健全化の一里塚である2020年度のプライマリーバランス黒字化を達成しなければ、我々は将来不安から解消されることはありません。

客観的な経済予測に基づいて、財政黒字化のための計画を取りまとめ、しっかりとそれを実行していく。各種業界の皆さんとの声を伺うことは勿論大切ですが、特定の業界や団体に過度に依存することなく、正々堂々と10年後・20年後を見据えた経済財政政策を進めて参ります。



5月1日TBS系CS「国会トーカフロントライン」に出演。財政健全化に向けた取組について話をさせて頂きました。放送内容は、「国会トーカフロントライン」HPのバックナンバーからご覧頂けます。



河野太郎行革本部長に、提言案の詳細を説明している様子。河野さんは、永田町随一の政策通であり、また財政再建に対する思いも人一倍強く、昼夜を問わず共に検証・議論を繰り返しました。

「将棋の王将戦」さいたま誘致に成功！～毎日新聞社長に直談判～

地元さいたまの活性化に少しでもお役に立ちたいという思いから、2月16日、17日の将棋の王将戦第4局（於：浦和パインズホテル）開催に取組みました。県内で王将戦が行われるのは、33年前の大宮開催以来です。王将戦は、全国670万人の将棋ファン注目の大会で、今回も渡辺明王将から郷田真隆九段が王将位を奪取して話題となりました。大会を誘致すると、主催の毎日新聞・スポーツニッポンが、連日棋士の動きに合わせて街の名産品・見どころ等を紹介してくれるため、地元さいたまの魅力発信にはうってつけです。また、対局後も将棋ファンが、対局場を訪れたり、対局で振る舞われた名産品を食べに来たりするようで、経済面での効果も期待できます。

今般のさいたま対局は、当初は難しいという声もありました。しかしながら、地元の将棋関係者の方の熱い思いを受けて、また私自身将棋を趣味としていることもあり、昨年毎日新聞の朝比奈社長にアポなしで直談判に伺

い、その後様々な調整を乗り越えて実現しました。

主催の毎日新聞、スポニチ、また、実行委員会を務めて頂いたさいたま商工会議所の皆さん、将棋連盟始め関係者の皆さんに心より御礼申し上げます。引続き、地元さいたまを盛り上げるため、様々な試みに挑戦して参ります！



自民・村井英樹議員が尽力
（一）埼玉で将棋が盛んで、さいたま市では将棋連盟が中心となり、多くの団体が連携して将棋の普及活動を行っている。その中で、将棋連盟は、将棋の魅力を広めようとして、将棋教室や将棋の魅力をめぐる企画展などを開催している。この企画展が、この度の将棋の王将戦開催につながった。

前日に開催された「さいたま子ども王将戦」にも、大勢の「小さな棋士」が駆けつけてくれました。

2月17日スポニチ26面。その他多くのメディアを通じ、地元さいたまの魅力を発信しました。

地域経済の好循環実現に向けて！ ～中小企業政策調査会として政府へ提言～

自民党の中小企業・小規模事業者政策調査会では、地域経済の現状・アベノミクスを補完する政策について積極的に議論を行いました。今年上半期は、特に地域金融の在り方に着目して、地域金融機関が「地域経済の核」として、積極的に中小企業の経営改善・事業再生に取り組んでいくことを目指す「地域経済好循環実現のための提言」を取りまとめました。私も、事務局次長として、会議の運営・提言の原案作りなどを行いました。この提言は、甘利経済再生担当大臣・宮沢経済産業大臣を始め政府への申入れを通じ、政府の成長戦略に反映されました。提言の詳細は、自民党HPのニュース→政策からご覧ください。



党内の議論を踏まえ、提言案を事務所で取りまとめる村井。



甘利経済再生担当大臣に提言書を説明の後、手交。

年金情報の流出問題に万全の対策を！ ～委員会での是々非々の質疑～

6月1日、日本年金機構が所有する約125万件の年金情報流出が明らかとなりましたが、この問題に対していち早く厚生労働委員会で質疑を行いました。質疑の中で、年金機構がセキュリティポリシーに反してファイルにパスワードをかけていなかったなど不適切な処理が行われていたことを明らかにすると同時に、今般の情報流出で国民の皆様に不利益が及ぶことがないように塩崎厚生労働大臣に強く要請しました。社会保障制度の根幹は、何よりも国民の皆様の信頼感です。財政的な持続可能性を高めると共に、制度を司る組織のガバナンス体制強化にもしっかりと取り組んで参ります。

また、今国会からは、憲法審査会、原子力問題調査特別委員会にも所属をしており、与党議員ではありますが、政府と真正面から対峙し、是々非々で議論を行っております。

国会での活動の様子については、衆議院HPで「村井英樹」と検索、「会議録」よりご覧ください。



★★★ より詳細な報告をご希望の方は、村井ひでき事務所（048-711-3241）までご連絡頂ければ、追って活動報告詳細版を郵送致します。また、国政報告会も随時開催中ですので、そちらも事務所までご連絡下さい。★★★

『我々も、村井ひできさんと共に頑張ります！』

【埼玉県議会議員】



荒川岩雄
浦和区選出



小島信昭
岩槻区選出

【さいたま市議会議員】



青羽健仁
浦和区選出



新井森夫
岩槻区選出



石関洋臣
緑区選出



江原大輔
岩槻区選出



高子景
見沼区選出



高橋政雄
緑区選出



田村琢実
見沼区選出



玉井哲夫
浦和区選出



都築龍太
緑区選出



鶴崎敏康
見沼区選出



中山欽哉
見沼区選出



帆足和之
浦和区選出

【村井ひでき】

ミニプロフィール

昭和55年さいたま市生まれ。浦和市立別所小学校、東京大学卒業。平成15年財務省入省。平成22年ハーバード大学大学院修了。平成23年10月財務省退官（主税局参事官補佐）。平成24年12月の総選挙で初当選。平成26年12月105,760票を頂き、再選。現在、厚生労働委員、青年局次長、財務金融部会副部会長、中小企業調査会事務局次長など。35歳。